



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	926	12.6	43	△16.9	3	△64.6	1	△92.9
23年6月期第2四半期	823	△1.1	52	△32.4	10	△66.6	14	△25.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	0.41	0.41
23年6月期第2四半期	117.64	—

(注)平成23年6月1日付けで普通株式1株を20株の割合で株式分割しております。このため、23年6月期第2四半期の1株当たり四半期純利益については、当該株式分割前の数値で表示しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年6月期第2四半期	2,923		902		30.2	
23年6月期	2,974		893		30.0	

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 883百万円 23年6月期 890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,840	8.0	120	△3.5	60	42.8	50	△33.0	19.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	2,559,400 株	23年6月期	2,552,400 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	48 株	23年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	2,558,201 株	23年6月期2Q	125,500 株

(注)平成23年6月1日付けで普通株式1株を20株の割合で株式分割しております。このため、期中平均株式数(四半期累計)の23年6月期2Qについては、当該株式分割前の数値で表示しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
4. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における取り組みは、安定した受入数量の確保により売上高及び営業利益の向上に努めてまいりました。建設系リサイクル事業においては、一般廃棄物を含めた非建設系廃棄物の受入拡大に努めた結果、受入平均単価が前期比で向上しております。千葉県内の自治体から震災関連廃棄物の受入も継続しており、運送及び製造業者から廃プラスチック類の受入数量が大幅に増加しております。食品リサイクル施設は、平成23年9月から堆肥化施設での受入数量を大幅に削減するとともに飼料化施設での受入れを拡大しております。リキッドフィードも県外の養豚業者への供給を開始しており、今後の供給量も増加傾向で推移するものと予測しております。

当第2四半期累計期間の売上高は926百万円（前年同期比12.6%増）となりました。売上原価につきましては、施設稼働率の向上により、人件費、燃料費、電気代の増加が20百万円、修繕費、消耗品費の増加が30百万円、廃プラスチック類等の受入数量の増加により委託費用が50百万円増加した結果、売上総利益は142百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

販売費及び一般管理費は発酵飼料の研究開発費が5百万円増加した結果、前年同期比5.3%増、計画比2.8%減の99百万円で、営業利益は43百万円（前年同期比16.9%減）となりました。営業外収益は家賃収入減少により1百万円（前年同期比56.6%減）、営業外費用は支払利息の減少により41百万円（前年同期比9.9%減）となり、経常利益は3百万円（前年同期比64.6%減）となりました。税引前四半期純利益は前年同期比1.8%増の7百万円となりましたが、法人税率の改正により法人税等調整額を計上したため四半期純利益は1百万円（前年同期比92.9%減）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	682	591	90	632	49
売上原価	593	493	100	542	51
売上総利益	88	98	△9	89	△1

建設系リサイクル事業は、受入数量及び受入価格の安定化を目的として小口取引先の拡大を進めてまいりましたが、第1四半期の平成23年8月に発電施設においてボイラー・タービンの法定点検に合わせて定期補修を行うため概ね1ヶ月間の受入停止を実施したことにより、平成23年11月中旬まで取引先の離脱により受入数量が減少しておりました。既存取引先への営業活動を強化した結果、11月後半から焼却、発電施設の受入数量は回復傾向で推移しております。焼却施設での受入数量は前年同期比8.2%減少しておりますが、受入平均単価が12.7%向上した結果、売上高は3.4%増加しております。発電施設も同様に受入数量は16.3%減少しておりますが、受入平均単価が25.7%向上した結果、売上高は5.2%増加しております。その他の廃棄物及び新築廃棄物の収集運搬業務につきましても数量及び単価の向上により、売上高は前年同期比で増加しております。

売上原価は発電施設の維持管理費が前年同期比で20百万円増加、収集運搬業務及び廃プラスチック類の受入数量増加に伴う委託費用が前年同期比で50百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は682百万円（前年同期比15.3%増）、売上総利益は88百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	145	131	13	166	△21
売上原価	107	101	6	104	3
売上総利益	37	30	7	62	△24

食品系リサイクル事業は、堆肥化施設を主体とした運営から乾燥飼料、液状化飼料並びに現在、給餌試験を行っております発酵飼料の生産拡大に方向転換を進めており、飼料化施設での受入数量の拡大に取り組んでまいりました。堆肥化施設の受入数量は当第2四半期会計期間（平成23年10月～12月）におきましては、前年同期比で50%以上の削減を行っております。飼料化施設の受入数量は前年同期比で倍増しております。受入平均単価は堆肥化、飼料化施設ともに前年同期比で向上しております。鉢田ファームの売上高は、前年同期比6百万円増の11百万円となりました。

売上原価は燃料費及び養豚出荷頭数の増加による販売原価が前年同期比で増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は145百万円（前年同期比10.2%増）、売上総利益は37百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	99	99	△0	97	2
売上原価	83	82	0	81	2
売上総利益	16	17	△1	15	0

白蟻解体工事は、解体工事が前年同期比では若干減少しておりますが、白蟻工事が増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は99百万円（前年同期比0.5%減）、売上総利益は16百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産の状況は、前事業年度末に比べ50百万円減少し、2,923百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、受取手形及び売掛金が16百万円減少しましたが、現金及び預金が4百万円、前払費用が5百万円、繰延税金資産が5百万円がそれぞれ増加したこと等により、前事業年度末に比べ13百万円増加し、360百万円となりました。

固定資産については、減価償却により123百万円、税制改正により繰延税金資産が4百万円減少、車両、機械の更新による増加等により、前事業年度末に比べて64百万円減少し、2,563百万円となりました。

流動負債については、短期借入金が8百万円減少、未払金が8百万円減少しましたが、買掛金が22百万円増加したこと等により、前事業年度末に比べ18百万円増加し、532百万円となりました。

固定負債については、借入金の返済等により、前事業年度末に比べ78百万円減少し、1,488百万円となりました。

純資産については新株予約権の発行等により、前事業年度末に比べ8百万円増加し、902百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ4百万円増加し、53百万円となりました。各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は152百万円(前年同期は147百万円の収入)となりました。これは主に減価償却費の計上123百万円、税引前四半期純利益7百万円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は48百万円(前年同四半期は80百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得48百万円の支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は99百万円(前年同四半期は106百万円の支出)となりました。これは主に新株予約権の発行による収入11百万円と長期借入金の返済98百万円、割賦及びファイナンスリース未払金の返済27百万円、期末配当金12百万円の支出等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比及び計画比ともに上回っておりますが、委託費用の増加により売上原価が売上高の増加率を上回っております。その結果、営業利益、経常利益、第2四半期純利益が計画を下回っております。

前期の利益未達要因でありました維持管理費につきましては、増額で見込んでおりましたので第2四半期までは概ね計画通り推移しておりますが、第3四半期以降は焼却、発電施設の改修工事により計画を上回る見通しであります。

売上高につきましては、第2四半期累計期間に引き続き、受入単価の向上等により建設系リサイクル事業の各施設につきましては、計画を上回る見通しであります。食品系リサイクル事業につきましては、飼料化施設の受入数量が大幅に増加しており、第3四半期以降も倉庫及び物流企業から排出される包装食品の受注拡大に向けた取り組みを強化しており、堆肥化施設の受入数量削減を補う計画であります。

平成24年6月期の業績は、売上高1,840百万円、営業利益120百万円、経常利益60百万円、当期純利益50百万円の見通しであります。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	926	823	103	900	26
売上原価	784	676	108	730	54
売上総利益	142	146	△3	170	△28
販売管理費	99	94	5	100	△1
営業利益又は 営業損失(△)	43	52	△9	70	△27

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税率の変更等による影響

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以後開始する事業年度より法人税率が引き下げられ、また、一定期間内、復興特別法人税が課されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.7%から、平成24年7月1日以降に開始する事業年度から平成26年7月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.0%に、平成27年7月1日より開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額は3,785千円減少し、法人税等調整額は3,785千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,695	53,947
受取手形及び売掛金	238,520	221,762
仕掛品	9,131	12,076
原材料及び貯蔵品	7,980	10,613
前払費用	20,350	26,106
繰延税金資産	26,608	32,256
その他	474	6,191
貸倒引当金	△5,865	△2,757
流動資産合計	346,897	360,195
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,530,761	1,540,039
減価償却累計額	△466,524	△495,467
建物(純額)	1,064,236	1,044,572
構築物	277,341	282,045
減価償却累計額	△156,092	△162,815
構築物(純額)	121,249	119,230
機械及び装置	2,530,193	2,542,291
減価償却累計額	△1,502,474	△1,574,560
機械及び装置(純額)	1,027,719	967,731
車両運搬具	48,088	47,137
減価償却累計額	△39,693	△36,949
車両運搬具(純額)	8,395	10,187
工具、器具及び備品	35,930	37,552
減価償却累計額	△28,655	△30,437
工具、器具及び備品(純額)	7,274	7,115
生物	3,035	5,228
減価償却累計額	△762	△1,482
生物(純額)	2,272	3,745
土地	311,595	311,595
建設仮勘定	4,009	5,580
有形固定資産合計	2,546,752	2,469,758
無形固定資産		
その他	6,211	18,009
無形固定資産合計	6,211	18,009
投資その他の資産		
関係会社株式	35	35
繰延税金資産	51,148	39,693
その他	24,613	37,068
貸倒引当金	△1,428	△1,437
投資その他の資産合計	74,369	75,358
固定資産合計	2,627,334	2,563,126
資産合計	2,974,231	2,923,322

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126,744	149,125
短期借入金	55,954	47,376
1年内返済予定の長期借入金	200,004	200,004
未払金	92,844	83,973
未払法人税等	3,387	2,577
その他	34,814	49,614
流動負債合計	513,749	532,672
固定負債		
社債	—	32,000
長期借入金	1,419,551	1,320,772
長期未払金	106,464	94,858
その他	40,800	40,800
固定負債合計	1,566,816	1,488,431
負債合計	2,080,565	2,021,103
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,071	213,128
資本剰余金	332,171	334,228
利益剰余金	347,589	335,870
自己株式	—	△22
株主資本合計	890,831	883,205
新株予約権	2,833	19,014
純資産合計	893,665	902,219
負債純資産合計	2,974,231	2,923,322

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	823,303	926,890
売上原価	676,679	784,131
売上総利益	146,624	142,758
販売費及び一般管理費	94,355	99,346
営業利益	52,269	43,411
営業外収益		
受取利息	15	10
受取家賃	3,600	797
その他	714	1,070
営業外収益合計	4,329	1,878
営業外費用		
支払利息	36,616	28,268
社債利息	—	894
支払手数料	4,242	8,279
その他	5,295	4,148
営業外費用合計	46,153	41,591
経常利益	10,445	3,698
特別利益		
固定資産売却益	699	970
リース解約益	—	3,406
特別利益合計	699	4,376
特別損失		
固定資産売却損	—	11
固定資産除却損	3,432	97
貸倒引当金繰入額	65	178
特別損失合計	3,498	287
税引前四半期純利益	7,646	7,787
法人税、住民税及び事業税	706	937
法人税等調整額	△7,823	5,807
法人税等合計	△7,116	6,744
四半期純利益	14,763	1,043

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	7,646	7,787
減価償却費	128,646	123,546
貸倒引当金の増減額(△は減少)	383	△3,098
金利キャップ評価損益(△は益)	5	56
受取利息及び受取配当金	△15	△10
支払利息	36,616	29,163
固定資産除却損	3,432	4,036
有形固定資産売却損益(△は益)	△699	△959
売上債権の増減額(△は増加)	△18,738	16,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,352	△5,576
仕入債務の増減額(△は減少)	24,792	22,381
その他	12,329	△11,027
小計	185,048	182,862
利息及び配当金の受取額	15	10
利息の支払額	△36,488	△28,919
法人税等の支払額	△1,311	△1,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,262	152,368
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△80,603	△48,633
無形固定資産の取得による支出	△1,379	△300
有形固定資産の売却による収入	1,500	1,438
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	100	200
その他	295	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,086	△48,300
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△8,578
長期借入金の返済による支出	△59,274	△98,779
社債の発行による収入	—	40,000
社債の償還による支出	—	△8,000
割賦債務の返済による支出	△31,771	△9,595
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,122	△17,433
株式の発行による収入	—	3,986
新株予約権の発行による収入	—	11,346
配当金の支払額	△8,785	△12,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,952	△99,816
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△39,776	4,252
現金及び現金同等物の期首残高	71,238	49,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,462	53,947

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。